

梨



建第26号

平成19年4月26日

国土交通省道路局長殿

小林市長 堀 泰



中期的な計画の作成に当たっての意見の提出について

拝啓 陽春の候、貴職ますますご清栄のこととお喜び申しあげます。

さて、道路財源の見直しによる具体策における中期計画の作成に反映されるべく意見等の集約をいたしましたので提出させていただきます。

尚、集約にあたりましては、地区の状況・現状を説明して提出しますので、宜しくお願いします。

地域の実情

地方における公共的機関の整備は十分と言える現状ではなく、今後も更なる整備が必要であります。地方における市民生活は車に頼らざるを得ないのが実情であります。

現在の道路の状況は里道を周囲の地権者の提供により拡幅したり、道路のない場所を提供により新設したり、道路は必要最小限度の幅で歩道も無く離合の際など混雑し、通行の安全が確保できない状況であります。

道路法に基づいた施設でない為に管理や安全面においても大変苦慮しており、大部分の道路が改良の必要な道路となっております。

最近の公共事業に対する予算は大変厳しくなっており、採択基準等も以前に比べて厳しく、新規に計画をしても地方では条件や要件等を満足するには、都会に比べて採択条件等に必要な要素が乏しいのが実情であります。

又、地方における市民からの要望はエンドレスであり、事業に対する補助金・交付金制度は年々厳しい状況にある中、財政も厳しい状況では大規模事業はもとより新規事業に至るまで、縮小を余儀なくされ、市民生活に密着した事業が主体となっております。

市民生活に密着した事業としては道路の一部改良等が主体となりますが、現在の制度では手立てが無く、少ない地方の一般財源に頼らざるを得ない状況であります。

地方の道路整備の予算は約9割が起債や一般財源に頼り、多くの要望等に対しても限られた予算内での対応となるため、道路での安全面等の管理体制を維持するに大変苦慮しておりますので、中期計画の作成にこの様な点が配慮されれば、ありがたいと考えます。

※ 重点化を進める上で特に優先度の高い政策

道路の整備や管理において、安全で安心な道路行政を確保するために、渋滞の解消や歩道の設置をすることで安定した生活基盤の確立を図る。

※ 効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと

厳しい財政事情を踏まえ、少ない予算で高効率を図るために、現在ある道路を有効的に利用する事を念頭において見通しの悪い箇所や狭小な場所を改良することでカーブ内での安全確保と離合の際の交通の流れを解消し、施設を有効利用する。

又補助金や交付金で対処出来れば、道路の有効利用を最大限に活用することが出来ると考えます。

※ その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関する意見

当市における道路の整備率は37%程度であり、以前補助事業により整備された道路も現在のモータリゼーションの社会において、道路構成規格も規格外となり改修が求められるようになるものの、この様な財政事情の厳しい社会においては積極的に推進することは困難である。道路管理者は市民が安全に通行出来るように管理する役割があり、この様な道路を確保することが必要最小限の条件であります。

又、現在は市民参加の道路管理や景観の推進が取り出されており、ボランティアによる活動も見受けられる様になりましたが、反面高齢化が進みその活動も縮小の傾向にあります。この様な社会環境を迎えるなか、新しい管理体制を構築して行くことも今後の課題となる。